

特長

この時計は、EL（=エレクトロルミネッセンス）を用いた発光方式により、暗闇の中でも表示内容を確認することができます。（パナライト機能）

アラーム音とパナライトの点滅でセットした時刻を知らせるデリーアラーム機能を搭載し、ストップウォッチは8ラップまでメモリー（ラップ）ができ、2種類（プリセット/フリー）のタイマーを持ち、2つの機能は「確認音」と「オートパナライト」がセットされていると「音とパナライト」で知らせるスポーツ用デジタルウォッチです。

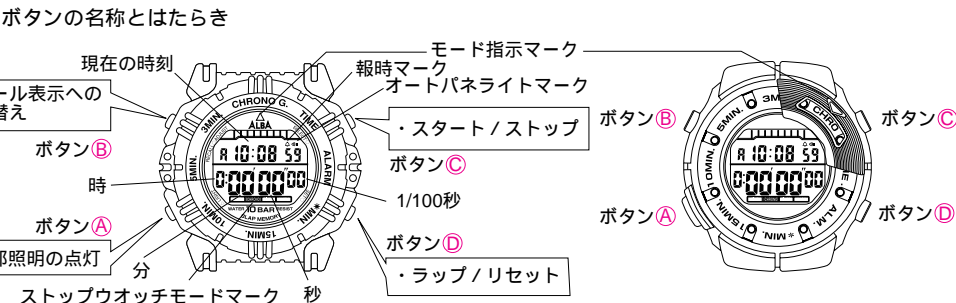
- 1.時刻・カレンダー機能
(年)月、日、曜日、時、分、秒を表示します。(年は時刻合わせの時のみ表示します。)
・1995年から2044年までの50年間、うるう年などの月末修正がいらぬ「フルオートカレンダー」です。
2.ストップウォッチ機能
・1/100秒単位で計測できる10時間計です。
・最初の8区間のラップについて記憶することができます。
・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
3.リコール機能
・ストップウォッチ機能で記憶した8ラップについてラップ回数、ラップタイムを表示することができます。
4.タイマー機能
・3分、5分、10分、15分の4chの初期値がセットされたプリセットタイマーと、1分から9時間59分まで1分単位で設定可能なフリータイマーがあります。
・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
5.アラーム機能
・設定した時刻(時、分)に毎日アラーム音とパナライトの点滅で知らせるデリーアラームです。
・アラームのセット/解除(on/-)を切り替えることができます。

- 「オートパナライト機能」
・オートパナライトが設定されているときは、各モードで機能するボタンの操作(例:時刻・カレンダーモードのときは、報時音・操作確認音のセットと解除するボタンC)後に、約2秒間パナライトが点灯します。(時刻修正・時間セットするときは除く)
「オートシグナル機能」
・オートパナライトをONすることによりストップウォッチでは、スタートから19分まで1分ごとにパナライトが点灯します。タイマーでは、リピート回数10回以下のタイムアップ前19分間のみ1分ごとにパナライトが点灯します。
「内部照明(パナライト)機能」
・専用ボタン操作により、どのモードでも1回押して約3秒間パナライトが点灯します。
・物質に電圧をかける光を放す現象(エレクトロルミネッセンス=EL)を利用した発光方式を採用しています。

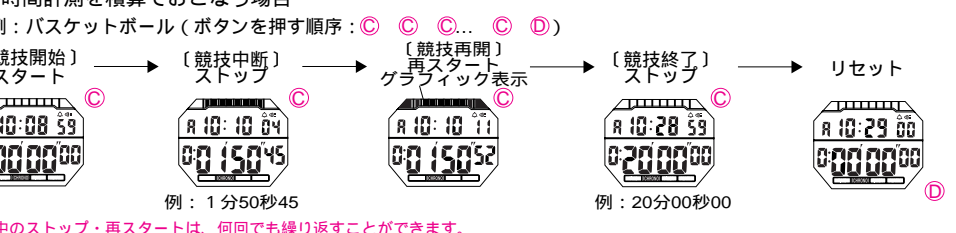
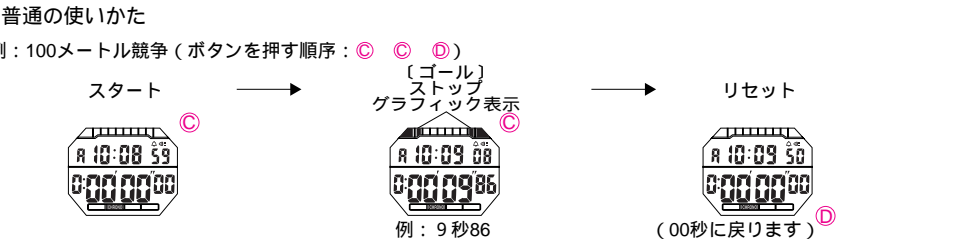
エレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。(詳しくは、「エレクトロルミネッセンスパネル(内部照明)について」の項をご参照ください。)
パナライト機能を使用し液晶面を光らせたときに、音がありますが、これは液晶面を発光させる部品が出す音であり、不良品ではございません。

ストップウォッチの使いかた

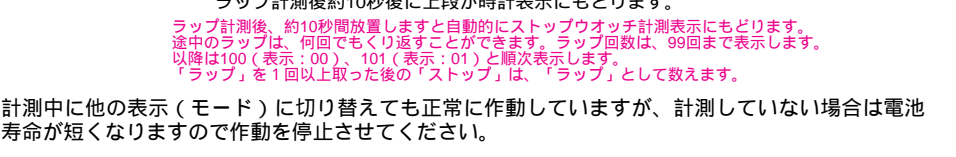
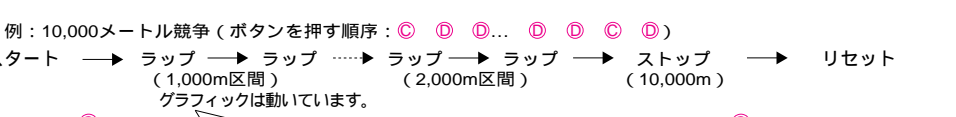
- ・1/100秒単位、10時間計です。
・最大計測時間は、9時間59分99秒です。
・ラップ回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)101(表示:01)と表示します。
・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
・報時音とオートパナライトがセットされているとスタートから19分まで1分ごとにブザー音とパナライトが点灯しお知らせします。(オートパナライトのセットについては「時刻・カレンダーの合せかた」を参照してください。)



・回転ベゼルをまわし、「ストップウォッチ表示」をモード指示マーク()に合わせてください。



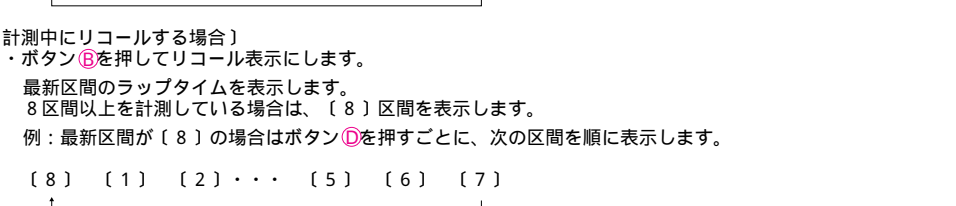
途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。



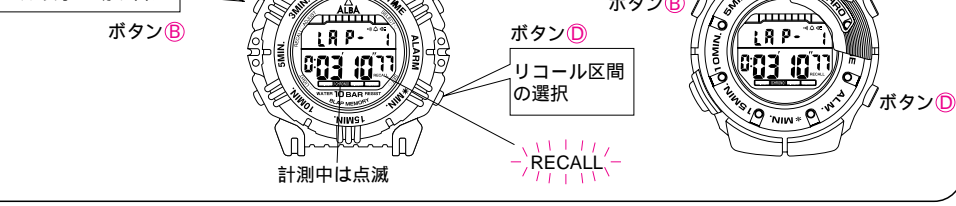
計測中に他の表示(モード)に切り替えても正常に作動していますが、計測していない場合は電池寿命が短くなりますので作動を停止させてください。

リコール(呼び出し)の使いかた
・計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しはできます。
・計測後リセットしても新しく計測しきれない限り、メモリーは削除されません。

このストップウォッチは、最初の(1)~(8)区間までのラップタイムを自動的にメモリー(記憶)しています。メモリーしているラップタイムのリコール(呼び出し)は、次の順序でおこないます。

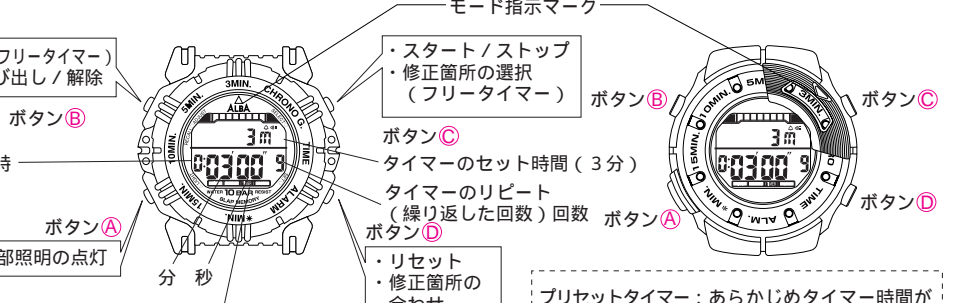


計測した区間が8未満の場合は、その最大の区間まで表示します。
例: リコール(呼び出し)状態(計測終了後)

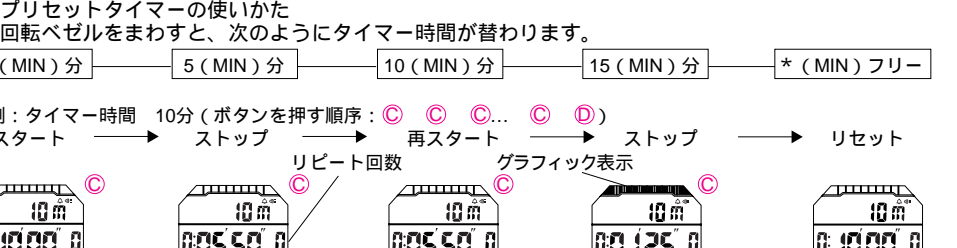


タイマーの使いかた

- ・タイマーは3分、5分、10分、15分の4つのプリセットタイマーと1分から9時間59分までの1分単位でセット可能なフリータイマーがあります。
・タイマーは、「リピート(繰り返し)機能付のためストップさせないと繰り返し作動しますので使い終わったら必ず止めてください」
・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
・報時音とオートパナライトがセットされていると、リピート回数10回以下のタイムアップ前19分間のみ1分ごとにブザー音とパナライトが点灯しお知らせします。
ボタンの名称とはたらき

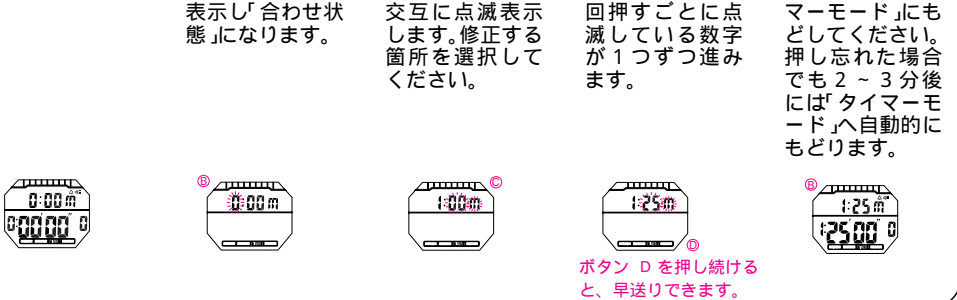


・回転ベゼルをまわし、「タイマー表示」をモード指示マーク()に合わせてください。



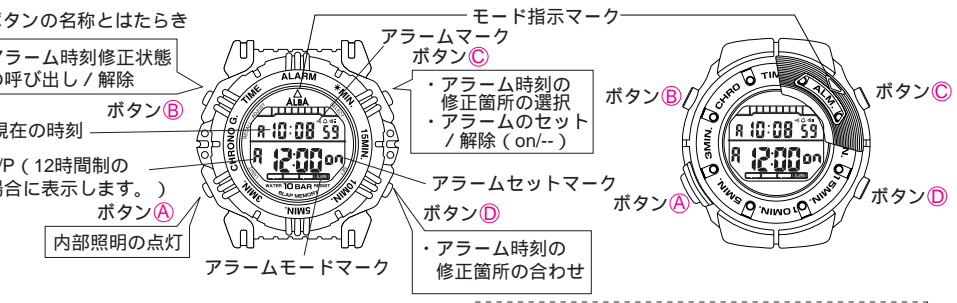
途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴ります。
鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、(A)、(B)、(C)、(D)、(E)いずれか1つのボタンを押してください。
タイマーのリピート回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)、101(表示:01)と順次表示します。

フリータイマーの合せかた
・フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。
例: 1時間25分にセットする場合



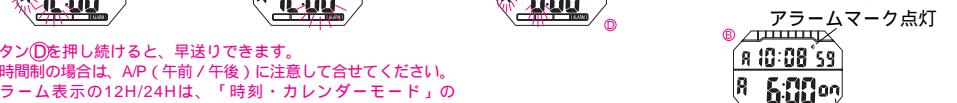
アラームの使いかた

- ・アラーム音とパナライトの点滅で知らせるデリーアラーム付きです。
・アラームのセット(on) / 解除(-)切り替えができます。

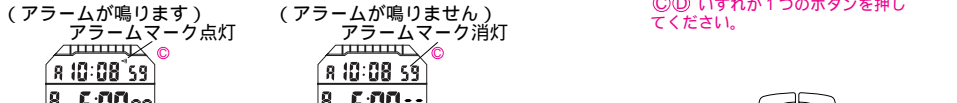


アラームセット時刻(例:午前12時00分)
「デリーアラーム:毎日、1日1回設定時刻にアラームが鳴る機能(24時間制)」

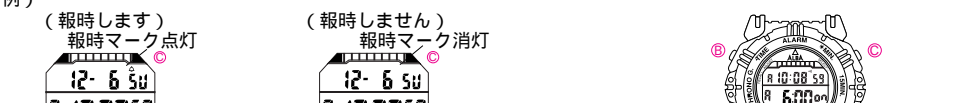
・回転ベゼルを回し、「アラーム表示」をモード指示マーク()に合わせてください。
・ボタンBを押しますと、押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。



アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合。
アラームモード:ボタンCを押すこと、アラームのセット/解除(-)ができます。



アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)
と報時並びに操作確認音のセットと解除ができます。
「時刻・カレンダーモード」でボタンCを押すこと、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンCとDを同時に押したとき「アラーム音の試し聴き」ができます。



報時マークを「点灯」した状態では毎正時の報時と操作確認音が鳴り、「消灯」した状態では報時と操作確認音は鳴りません。

電池交換後のお願ひ(システムリセット)

- ・電池交換後や万一異常な表示(読みない表示など)をした場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。
・システムリセットのした
電池交換後は、必ずA B C D 4つのボタンを同時に2-3秒間押し、表示が消え、ボタンを離した後に「1:1SU 12時00分00秒」の表示になります。
ご使用の前に下記の順番に操作してください。
時刻・カレンダーの合せ
アラームの設定
それぞれ項目を参照ください。

液晶パネルについて

この時計の液晶パネルは、5年をすぎますとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。お買い上げ店または、アルバ取扱店に交換を申し付けください。有料にて申し受けます。

使用上の注意とお手入れの方法

Table with 4 columns: Water Resistance (防水性), Water Resistant (ケ-スの裏に WATER RESISTANT), Water Resistant (ケ-スの裏に WATER RESISTANT), and Water Resistant (ケ-スの裏に WATER RESISTANT). Rows include Non-waterproof (非防水), Daily Life Waterproof (日常生活防水), Daily Life Waterproof (日常生活防水), and Reinforced Waterproof (強化防水).

- 警告
・日常生活用防水(3気圧)の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水(5気圧)の時計は、スキダイビングを含めて全ての潜水で使用できません。
・日常生活用強化防水(10・20気圧)の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

保管について
・-5 ~ +50 からはずれた温度、下で長時間放置すると、機能が低下したり、停止する場合があります。
・強い振動のあるところに放置しない(薬品の例:ベンゼン、シンナーなどの有機溶剤、およびシンナーを含有するもの・ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など)
・湿気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・湿気や防虫剤の入ったきだした特別な環境に放置しないでください。

日常のお手入れ
・ケースバンドは肌着と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので清潔にしてください。
・時計をはずしたときは、柔らかな布などで汗や水分を拭き取るだけで汚れやケース、バンド及びバックンの寿命ががってきます。

金剛バンド
・革バンドは時々柔らかい歯ブラシなどで洗い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。
皮革バンド
・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
軟質プラスチックバンド
・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、あせせ・変色、あるいははくけつたり切れたりする場合があります。特に半透明のウレタンバンドは、変色などが目立ちやすく、条件によっては数カ月のご使用で起こり始める場合があります。汗気などの場所に残り、汗や水で濡れたまま放置しておく、早く変化することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですべての用途には変更する必要があります。

非防水時計は、水(水道の水はぬ、雨、雪など)や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸水性のない布などで水分を拭きとってください。
日常生活用強化防水時計は海水などでのご使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
回転ベゼルの時の場合、ベゼル下に汚れなどがたまり、回転が重くなったりしますので清潔にしてください。

かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余粉を持たせ、通気性をよくしてお使いください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは、
1. 汗・皮脂に対するアレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生した汗、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

その他、携帯上ご注意ください
・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬけがを負う場合がありますのでご注意ください。
・特に乳児を扱う場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分ご注意ください。

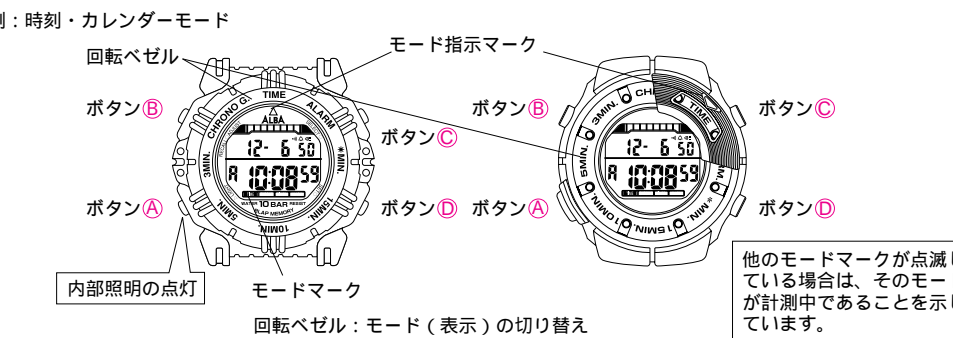
定期的な点検について
・ながくご利用いただくために、2-3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分の原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご利用いただけます。保油状態・潤滑の有無・汗や水分の侵入などの点検をお願いし、点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
・部品(電池)交換の際は、「修理部品(電池)」をご指定ください。電池が切れたまま長時間放置すると潤滑などで故障の原因となりますので早めにご交換ください。
・定期点検や電池交換の際にはバックリヤバンドの交換もあわせてご依頼ください。

電池についてのお願ひとご注意
1.電池寿命切れ予告機能
「時刻・カレンダー」表示(2)と共に全ての点灯セグメントが点滅になりますと2-3日中に時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店またはアルバ取扱店まで電池交換をご依頼ください。
2.電池について
この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。ただし、電池寿命はストップウォッチまたはタイマーを1日10時間以内、アラーム1日1回以内、内部照明の点灯1日3回以内、オートパナライト1週間30回以内、操作確認音1日24回以内を基準としていますので、それ以上使用した場合上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
(2)お買い上げの電池
電池交換にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
(3)電池交換
電池交換は、必ずお買い上げ店または、アルバ取扱店です。ご指定の上、ご用命ください。
電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、潤滑などで故障の原因になりますので、お早めにご交換してください。電池交換は、保証期間中でも有料になります。

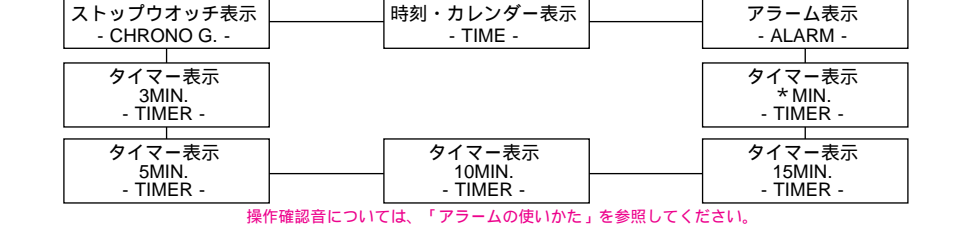
警告
1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3. 万一口み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

注意
1. 破裂、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート・分解・加熱、火に入れないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破裂のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3. 常温(5-35)からはずれた温度、下で長時間放置すると「電池が液漏れしたり、電池寿命が短くなったことがあります。」

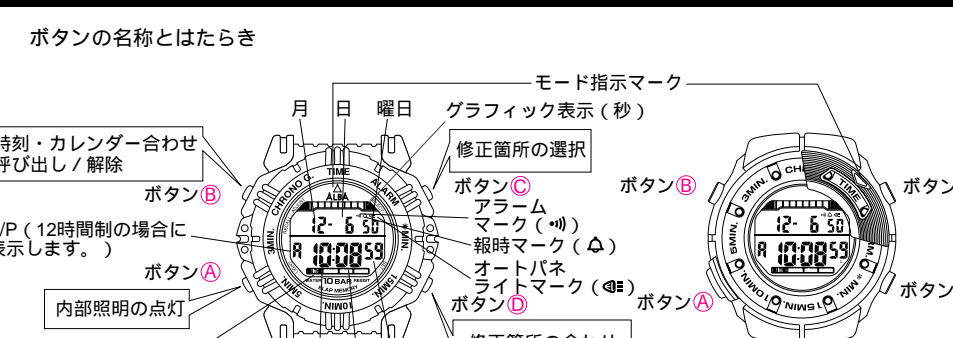
ボタンの名称と表示の切り替え



回転ベゼルをまわし、表示名をモード指示マーク()に合わせます。下図の順序で表示が替わります。

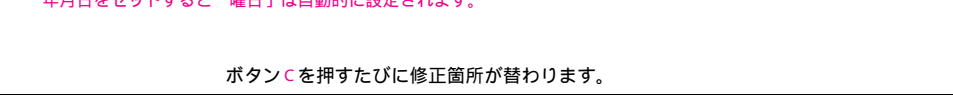


時刻・カレンダーの合せかた



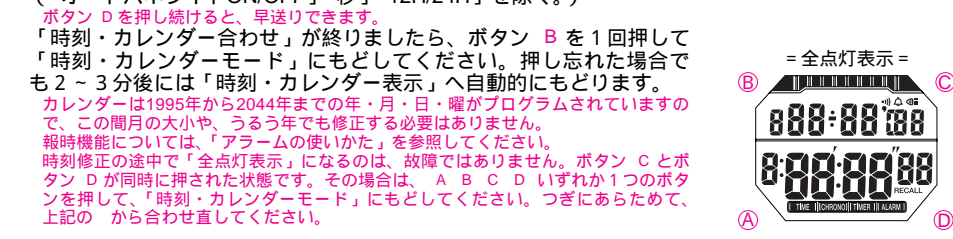
回転ベゼルをまわし、「時刻・カレンダー表示」をモード指示マーク()に合わせてください。

ボタンBを2-3秒間押し続けるとオートパナライト表示が点滅し「オートパナライトの選択」状態になります。ボタンDを押すとON(セット)とOFF(解除)が繰り返し表示し選択できます。
ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部)を選ぶことができます。
年月日を設定すると「曜日」は自動的に設定されます。



ボタンCを押すたびに修正箇所が替わります。

ボタンCを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」に合います。
秒表示が30-59秒のとき、ボタンDを押すと1分繰り上がって「00」に合います。
時刻合わせは電話の時報サービス(TEL117)が便利です。
合わせたいところを点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。(「オートパナライトON/OFF」「秒」「12H/24H」を除く)
ボタンDを押し続けると、早送りできます。
「時刻・カレンダー合わせ」が終了したら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2-3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。
カレンダーは1995年から2044年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この期間の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。
時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A B C D いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。



製品仕様

- 1. 水晶振動数 : 32,768Hz (Hz = 1秒間の振動数)
2. 精度 : 平均月差 ± 20秒 (気温 5 - 35 において腕につけた場合)
3. 作動温度範囲 : -5 ~ +50
4. 使用温度範囲 : 0 ~ +50
5. 表示内容
(1)時刻・カレンダーモード タイムモードマーク
月、日、曜日、A/P(12時間制のとき表示)
時、分、秒
(アラーム・報時・オートパナライトマーク)
グラフィック表示
(2)ストップウォッチモード
ストップウォッチモードマーク
時刻(時・分・秒) A/P(12時間制のとき表示)
10時間計(時、分、秒、1/100秒)
ラップ回数 LAP表示、RECALL/RECALLのとき表示
(アラーム・報時・オートパナライトマーク)
作動時:グラフィック表示
(3)タイマーモード
タイマーモードマーク
10時間計(時、分、秒)
繰り返し回数
(アラーム・報時・オートパナライトマーク)
作動時:グラフィック表示
(4)アラームモード
アラームモードマーク
時刻(時・分・秒) A/P(12時間制のとき表示)
アラームセット時刻(時、分) A/P(12時間制のとき表示)
on/- (セット/解除)
アラーム・報時・オートパナライトマーク

上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。



ボタンCを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」に合います。
秒表示が30-59秒のとき、ボタンDを押すと1分繰り上がって「00」に合います。
時刻合わせは電話の時報サービス(TEL117)が便利です。
合わせたいところを点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。(「オートパナライトON/OFF」「秒」「12H/24H」を除く)
ボタンDを押し続けると、早送りできます。
「時刻・カレンダー合わせ」が終了したら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2-3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。
カレンダーは1995年から2044年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この期間の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。
時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A B C D いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。



ボタンCを押すたびに修正箇所が替わります。

